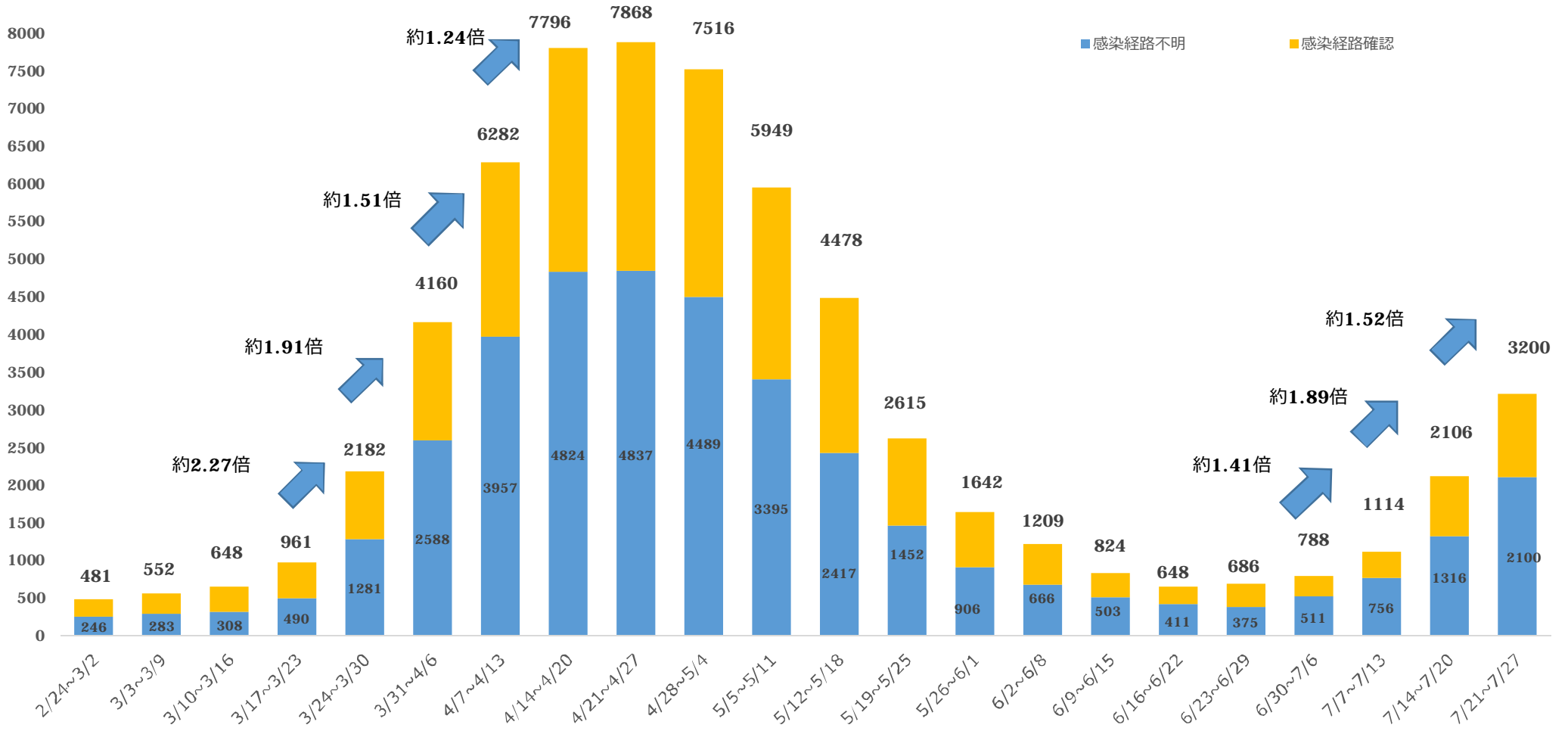


7日間毎の新規陽性者数

フリップ①

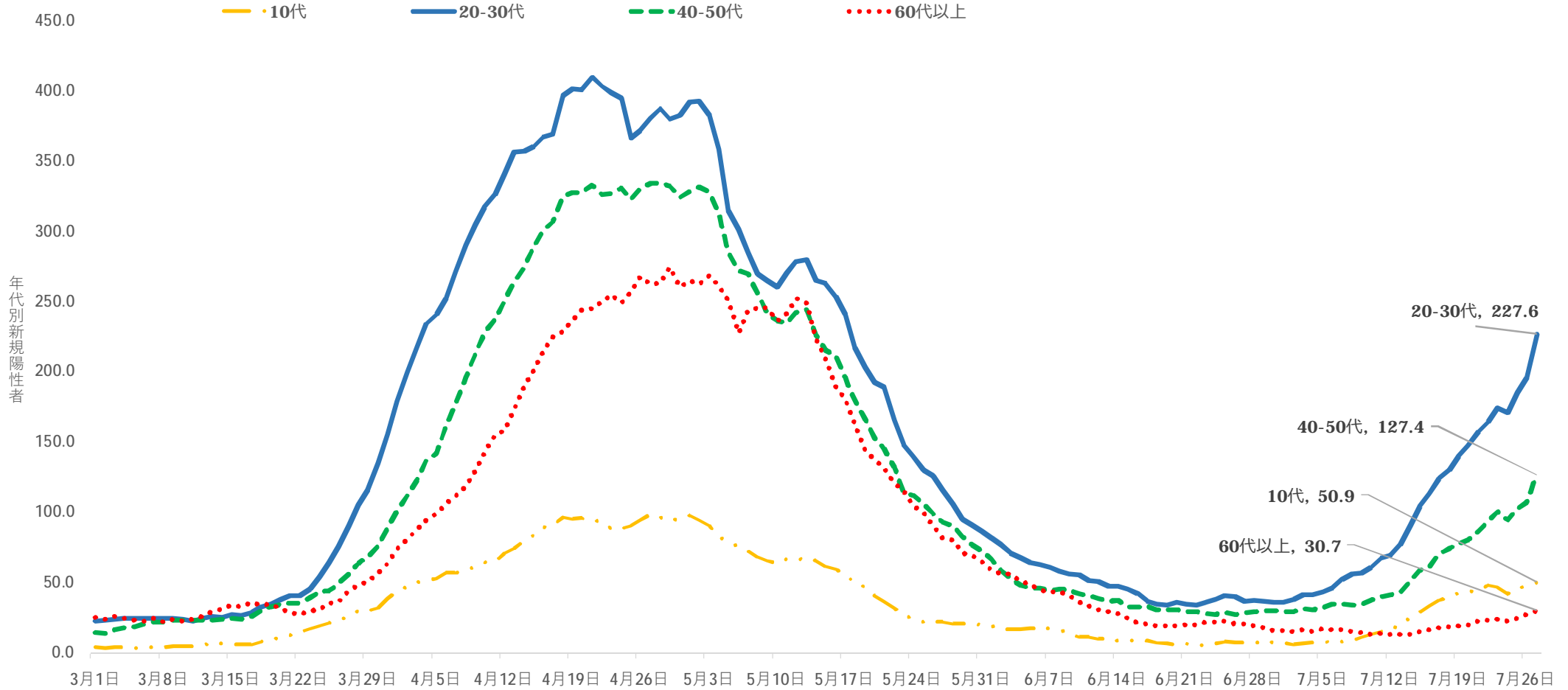
◆7日間毎の新規陽性者数は、直近1週間で約1.52倍。



年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

フリップ②

◆20・30代及び40・50代の新規陽性者数が大きく増加。60代以上も7月13日以降、緩やかに増加。

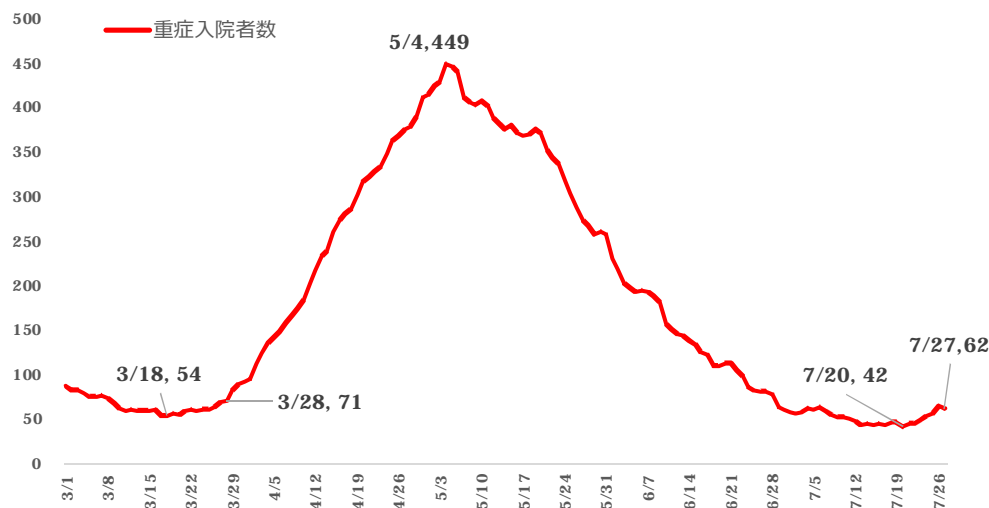


第五波 療養状況

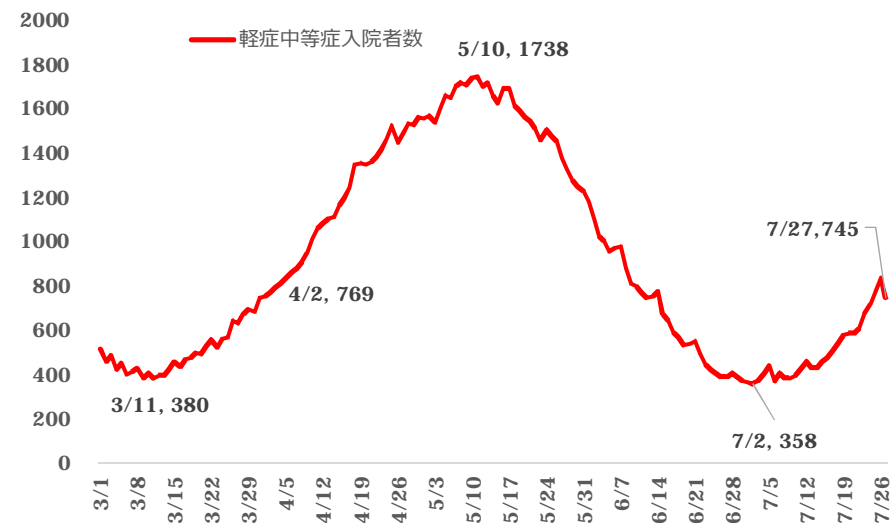
フリップ③

◆重症者数は7月20日を、軽症中等症は7月2日を底として、第四波とほぼ同じ速度で増加。

入院患者（重症）



入院患者（軽症中等症）



● 軽症中等症病床の確保の要請（7月28日）

【運用フェーズの引き上げ】

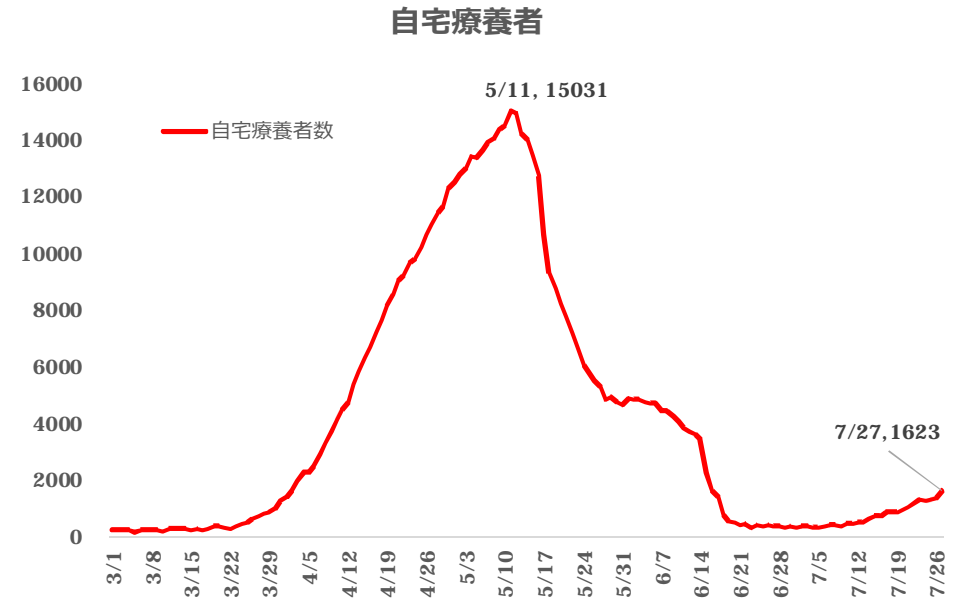
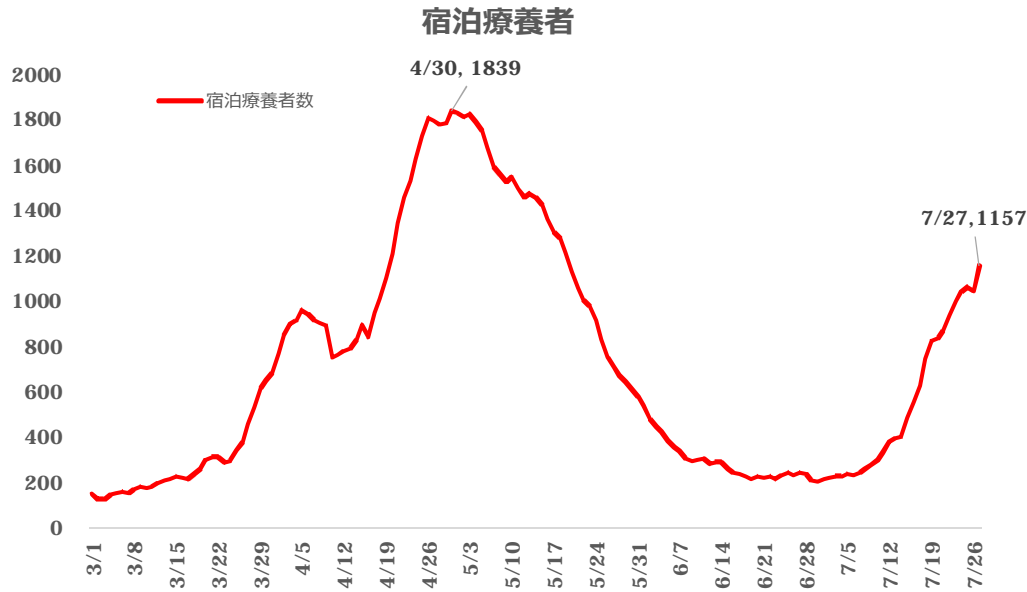
- 軽症中等症病床について、「フェーズ2（1,700床）」から「フェーズ4（約2,350床）」へ引き上げ（+650床）
（7月27日現在の運用数1,861床）

【更なる病床の確保要請（特措法第24条9項）】

- 許可病床数（一般病床）に応じた病床確保（6月15日付要請）を再要請
 - ・軽症中等症病院（約40病院）
 - ・（新規）二次救急医療機関[内科又は呼吸器内科]（約40病院）
- ▶ 約500床の要請

第五波 療養状況

◆ 宿泊療養者数は大きく増加。自宅療養者も第四波と同様、増加。



夏休み期間中のお願い

感染が急増しています

- オリンピックは自宅で応援しましょう
- 感染対策の更なる強化をお願いします
 - ・都道府県を越えた移動は控えてください
 - ・普段会わない人や大人数・長時間での飲食は控えてください

◆ サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、民間のアイデアや活力を活かし、施設の魅力を向上させ、にぎわいのある園地を実現するため、指定管理者の公募を実施。

【今回の公募のポイント】

- 指定管理者の投資によるにぎわい施設の整備等の提案
- 指定期間を5年から10年に延長
- 北河内地区と中河内地区の7園地を一体で管理運営

にぎわい施設の整備等に関する取組み例

● 自然に親しみながら、子どもから大人まで楽しむことが出来て、多くの集客が見込めるアクティビティ施設の整備

- ・自然や地形を活かしたジップラインやアスレチックなどの整備
- ・既存のキャンプ場、バーベキュー場のリニューアル など

● リピーターの確保を視野に入れた季節を感じる多彩なイベントの実施

- ・夜の開園（ナイトウォークやライトアップなど）
- ・地域の特産品の販売、マルシェ
- ・地域のイベントと連携したフェスティバル、植樹祭 など



ジップライン



キャンプ場

大阪府民の森の概要について

【府民の森とは】

- ◆ 府政100年を記念して、昭和43年から整備を始め、身近で豊かな自然に親しめるよう、開設した自然公園施設
- ◆ 金剛生駒山系に8園地、和泉葛城山系に1園地を整備



くろんど園地(交野市)
そよかぜの路



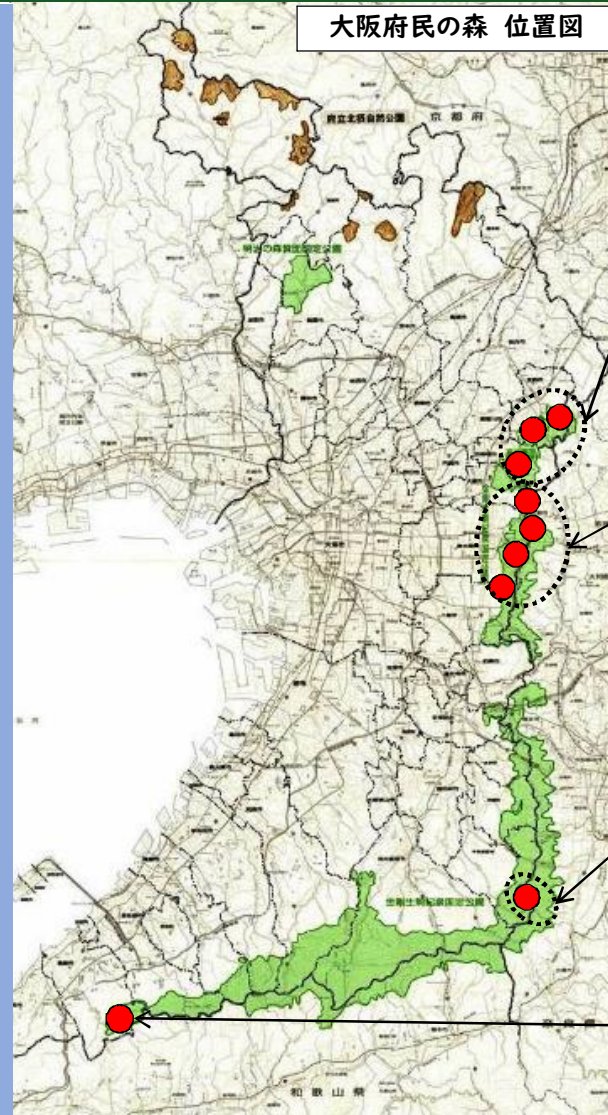
ほしだ園地(交野市)
星のブランコ(吊橋)



むろいけ園地(四條畷市)
水辺自然園



なるかわ園地(東大阪市)
つつじ園



(金剛生駒山系)

《北河内地区》

- くろんど園地(交野市) 105ha
- ほしだ園地(交野市) 105ha
- むろいけ園地(四條畷市) 49ha

《中河内地区》

- くさか園地(東大阪市) 58ha
- ぬかた園地(東大阪市) 62ha
- なるかわ園地(東大阪市) 204ha
- みずのみ園地(八尾市) 17ha

(R3年度公募対象地区)

《南河内地区》

- ちはや園地(千早赤阪村) 13ha

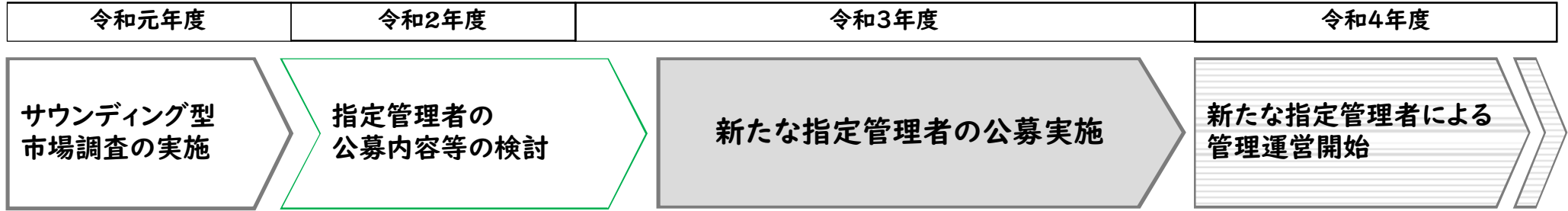
(和泉葛城山系)

《泉南地区》

- ほりご園地(泉南市) 4ha

大阪府民の森（北河内・中河内地区）公募のスケジュール

フリップ⑧



日程	実施内容
令和3年7月28日(水)	募集要項の配布開始
令和3年10月1日(金)～10月7日(木)	申請期間
令和4年4月1日(指定期間10年間)	新たな指定管理者による管理運営開始 ※候補者の決定は、令和3年12月(予定)

- 本日より府民の森指定管理者の募集要項の配布を開始。
- 現地説明会・施設案内を実施予定。
- 詳しくは、大阪府ホームページをご確認ください。

HP

ひろがれ!みどり



大阪産(もん)の美味しい野菜を食べよう!①

フリップ⑨

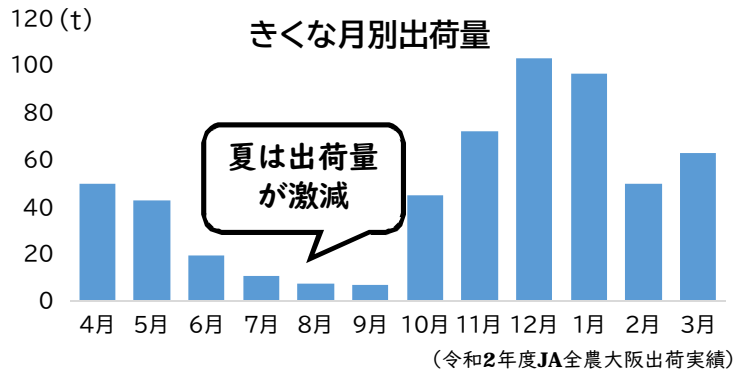
- ◆大阪府では「きくな(しゅんぎく)」を水なすに続く「第2の特産品」にすべく取り組んでいる。
- ◆新型コロナの影響で、自宅での飲食が増加し、農産物を購入する機会が拡大。
- ◆冬が旬で、夏の生産が難しいきくなを、年間通して楽しめるよう、令和3年より「泉州きくなプロジェクト」を実施。

きくな(しゅんぎく) 出荷量

1位	大阪府	／	2,980 t
2位	千葉県	／	2,450 t
3位	群馬県	／	2,010 t

(出典:令和元年産農水省作況調査)

大阪府はきくなの日本一の産地だが
府内でもあまり知られていない…



泉州きくなプロジェクトを通じて
夏も安定生産を目指す

泉州きくなプロジェクト



安定生産と品質向上による販売単価の向上

- ・盛夏期の安定生産技術の普及
- ・講習会等を通じた出荷調整技術向上



きくなの妖精

認知度向上による需要喚起・消費拡大

- ・新たなきくなの食べ方提案
- ・きくなの販売促進キャンペーンの実施

新規生産者の育成による生産体制の強化

- ・水なす+きくなアカデミーの開催による新規生産者の育成

夏の「きくな」を楽しもう!

- ・泉州きくなは柔らかくサラダでも美味しく食べられる!
- ・泉州きくなレシピコンテスト(募集期間8/5まで)
- ・夏のきくなキャンペーン開催予定(8/23~29)



新たな食べ方やキャンペーン情報は随時公開予定!

泉州きくなプロジェクト



冬は鍋、夏はサラダなどの様々な食べ方で日本一のきくなを楽しもう!

大阪産(もん)の美味しい野菜を食べよう!②

フリップ⑩

- ◆食の多様化に伴い、他にない味や形などの野菜が見直され、大阪の個性ある野菜が求められている。
- ◆大阪府では、「伝統野菜」の復活に取り組み、地域特産物として地産地消を推進し、地域の活性化に寄与。
- ◆今年度、大阪の食文化等を地域で守り、引き継いでいただくため、「なにわの伝統野菜」の申請が可能に。

「なにわの伝統野菜」

今まで 大阪府が主体となって
文献等により認証

R3.5月～ 個人・団体からの
申請により認証が可能に

(1) 概ね100年前から大阪府内で栽培されてきた野菜

(2) 苗、種子等の来歴が明らかで、大阪独自の品目、品種であり、栽培に供する苗、種子等の確保が可能な野菜

(3) 府内で生産されている野菜

19

品目

申請第1号

なにわの伝統野菜「堺 鷹の爪」本日認証!



- 1節に1つずつ、天を向いて約3cmの小ぶりで可憐な果実をつけるのが大きな特徴。
- 辛みは国内で多く流通する辛口唐辛子品種の約3倍で香りがよい。

- 初めて生産者団体等からの申請により、堺市内で明治時代より栽培が始まり、120年間守り続けたとうがらし辛味種「鷹の爪」を認証。
- 摘み取りに他品種の倍以上の労力がかかることから作付けは減少し、ほぼ見られなくなった。(1903年頃 約60ha→2021年 約0.1ha)
- 今後、希少な野菜として広くPRを実施。

「鷹の爪」を学ぶ(鷹の爪講座と摘み取り体験)

日程:9月中旬~下旬

場所:ハルカスファーム(あべのハルカス・ウイング館10階屋上)

など

大阪に残る希少な野菜を知り、味わってください!
希少な野菜があれば、ぜひ申請を!